



- 学校教育目標
- めあてをもって学ぶ子
 - 自他を大切にする子
 - 体をきたえる子

授業参観ご来校ありがとうございました

11月22日（金）学校保健委員会の講演会と、全校授業参観を行いました。講演会では、「目と健康のつどい」と題して、いしどりや眼科 玉木光子先生にお話しいただきました。目は心の窓と言われるなど、人間の得ている情報の9割は目からであり、その大切さを話されました。その中では、視力は3歳から6歳までが特に重要な時期であること、近視の対策として目と本は30cm以上離すこと、ゲームや携帯を30分見たら30秒は休ませる（理想は5分）こと、メディアの影響により、ドライアイ、眼精疲労、睡眠不足、周囲への認識が弱まるなどの症状が出やすいこと、親のスマホ依存により、子どもの反応に気づけなくなり、声を出さない子、表現できない子、言葉の遅れなどの症状が心配されること、などたくさんのお話をいただきました。短時間でしたが、とても有意義な講演会となりました。

授業参観では6年生は学年での情報モラル学習、5年生は学級毎の情報モラル学習、4年生は図工、特別支援学級では食育講座、3年生は算数、国語、2年生は道徳、1年生は国語の授業を見ていただきました。たくさんの方に参観いただき、子どもたちも張り切って授業にのぞんでいました。ご感想もたくさんいただきました。お忙しいところご参観くださいありがとうございました。



保小交流会、認知症講座など学年行事を実施

1年生では11月13日に今年度から2つの保育園が統合したいしどりやこども園の園児を迎えての「保小交流会」、4年生では11月12日に花巻市の職員をお迎えしての「認知症講座」をそれぞれ行いました。

保小交流会では、最初に各クラスに入って現1年生の授業を見てもらい、その後園児を交えて授業を行いました。業間時間から3時間目にかけては、体育館に移動して、児童が園児のお世話をしながら手作りのゲームで楽しんでもらいました。児童は園児が来る前から楽しみにしていて、園児のお世話を楽しく丁寧に行って、お兄さんお姉さんぶりを發揮していました。

4年生では認知症についての理解を深めることができ、認知症の方とどのように接したら良いのかを具体的に学ぶことができました。授業者からの質問で「おじいさんやおばあさんと同居している人はいますか。」の質問に、手を挙げる児童が多数いることを知り、認知症についての理解の大切をよりいっそう実感しました。各学年共に大きな学びの機会となりました。



四季の写真コンテスト「秋」開催

今年度第2回目の写真コンテストを開催しました。2回目はタブレットでの撮影をおぼえた低・中学年の児童が多く参加してくれました。今回はテーマを「秋」とし、10月中旬から11月中旬までに自分のタブレットで撮影した写真を、オンラインで校長あてのフォルダーに提出してもらいました。今回は前回よりも多い84名の参加があり、個性あふれる作品が提出されました。どの作品もすばらしく魅力的なものばかりで、審査に苦労しましたが、6点を優秀賞としました。今年の秋は鮮やかな赤や黄色の葉は少なかったように思いますが、木の実や葉、遠景や近景を考えた構図、光と影を意識した写真など、子どもたちのいろいろな感性を改めて感じました。作品はプリントアウトして校内に掲示します。（色がきれいに出ていないくて残念ですが・・・）保護者の皆様も、期末面談まで校内（プレイルーム）に展示しますので、ぜひご覧ください。



優秀賞 千田莉々那



優秀賞 鈴木小春



優秀賞 樋渡柚磨



優秀賞 熊谷心々



優秀賞 三又ぽたん



優秀賞 小林佑愛

職員紹介 戸来キイ子先生(ひまわり学級1組担任)

12月から石鳥谷小学校でお世話になっております。戸来キイ子と申します。どうぞよろしくお願い致します。生まれも育ちも花巻市太田です。4号線を北上する際に石鳥谷小学校の校舎を見ていきました。今回、縁あって働かせていただくことになり、大変嬉しく思っております。私は絵本を読むことが大好きです。本屋さんでもよく手に取って立ち読みしたり、花巻図書館で借りて読んだりしています。石鳥谷小学校のみなさんとも絵本をたくさん読むことができたらと思っております。



花巻市PTA連合会研究大会で岩館前PTA会長表彰

11月23日（土）花巻市PTA連合会研究大会が開催されました。昨年度の功労者に送られる個人表彰で、本校前PTA会長（現石鳥谷中PTA会長）の岩館大輔さんが表彰されました。おめでとうございます。また、社会福祉法人千晶会太田の園の常勤講師 鈴木勝良氏による「誰でも輝ける未来の道がある！」と題した講演会がありました。幼小時に両脚を交通事故で切断しながらも、75歳の現在まで障がいを乗り越えて精力的に活動してきた人生から、多くのことを学びました。自分の人生は、同級生や身の周りの人々のおかげで未来が開けた。「周りがどう関わるかで人生がかわる」という強いメッセージを送ってくださいました。子どもたちや保護者にも聞かせたい講演でした。